

令和元年10月4日

各 部 局 長

富士見市長 星 野 光 弘

## 令和2年度予算編成方針について（通知）

わが国では10年連続で人口が減少し、昨年1年間の人口減少幅が過去最大となるなど、人口減少がさらに加速している状況にある。

そうした中、本市ではまちの魅力を高める計画的な土地利用の推進や子育て支援の充実、産業の活性化などの取組みの成果として、人口は増加を続けているほか、市税収入は8年連続して前年度を上回る過去最大の決算額となるなど、まちとしての発展を続けている。

令和2年度は、第5次基本構想後期基本計画の最終年度であり、将来都市像に掲げた「ひととまちがキラリとかがやく市民文化交流都市」に向けて集大成の予算編成となるほか、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年となることから、セルビア共和国のホストタウンとしての取組みを進めるとともに、本市の未来を見据え、次期総合計画につながる魅力あふれる施策を予算に反映し、まちのさらなる発展に向けて力強く取り組んでいかなければならない。

予算編成においては、「子育てするなら富士見市で」に関連する取組みや、市民生活の安心安全を高める施策等については、引き続き重点的に取組みを進めるとともに、職員の創意工夫と柔軟な発想から11万市民のニーズに応える施策を生み出し、新たな時代に次のステージへステップアップする予算を私とともに、全職員の英知を結集して夢をかたちにする編成としていただきたい。

### 記

#### 1 国の動向と本市の財政見通し

##### （1）経済動向と国家予算の見通し

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くと期待されている一方、通商問題を巡る緊張の増大の影響や海外経済の動向等には留意する必要があるとされている。

そうした中での国の令和2年度概算要求は、社会保障費や国債費などが膨らみ、過去最大となる105兆円規模となり、今後の消費税増税後の需要反動減対策などを含めると、当初予算は前年度に続いて100兆円台になる見通しであるが、現段階では市への影響は不透明であるため、今後の国の動向には十分注視していかなければならない。

## (2) 本市の財政見通し

本市では、健全な財政運営に関する条例に基づき、弾力的かつ持続可能な財政構造の確立を目指し、計画的な財政運営を進めており、財政運営判断指標をはじめ、各種財政指標は概ね健全な状況にあるが、一方で公共施設や道路などインフラ施設の老朽化に伴う改修費等の増加により、その財源として市債借入額が増えており、地方債残高とともに公債費が増加していく見込みであることから、今後策定される個別施設計画等に基づき、計画的かつ効率的な施設整備及び財政運営が一層求められている。

令和2年度から令和4年度に予定するインフラ整備等を考慮した実施計画と整合を図り、今後の歳入歳出予算を推計した中期財政計画における令和2年度の財政見通しは次のとおりである。

### ①歳入見込み

- ・市税は、令和元年度における調定額等の実績を踏まえ、個人市民税や固定資産税家屋等の増を見込み、全体として前年度に比べ増加する見込みである。
- ・地方消費税交付金は、令和元年10月の税率改正の影響を踏まえ、前年度に比べ増加する見込みである。
- ・地方交付税は、市税や地方消費税交付金の増に伴う基準財政収入額の増等により、前年度に比べ減少する見込みである。
- ・市債は、実施計画事業を踏まえ、前年度に比べ増加する見込みである。

### ②歳出見込み

- ・人件費は、会計年度任用職員制度の導入に伴い、前年度に比べ増加する見込みである。
- ・扶助費は、幼児教育・保育無償化に伴う給付費の増や障害介護給付費の伸びなどにより、前年度に比べ増加する見込みである。
- ・公債費は、公共施設の改修費等に伴う市債の借入増に伴い、前年度に比べ増加する見込みである。
- ・投資的経費は、キラリ☆ふじみ舞台設備改修工事費や鶴瀬駅東口駅前広場の整備費などの増に伴い、前年度に比べ増加する見込みである。

### ③財源不足見込み

上記の歳入歳出見込みを踏まえた現時点における令和2年度予算の財源不足額は、**13億円程度**になる見込みである。

現段階では歳入歳出予算額ともに不明確なところはあるが、予算要求にあたっては、執行額及び決算不用額の実績などを十分に考慮し、適正な予算額を見込むとともに、スクラップアンドビルドを徹底するなど、最少の経費で最大の効果を得られるよう職員一人ひとりの創意工夫により予算を編成すること。

## 2 予算編成の基本方針

令和2年度が計画最終年度となる第5次基本構想の集大成として、後期基本計画に掲げる各施策をさらに充実させるとともに、次期総合計画につながる施策を予算に反映させ、「誰もが住みたい、住み続けたい、選ばれるまち」の実現に向けて、以下の方針に基づき予算を編成すること。

### (1) 重点施策の推進

次に掲げる施策については、市の重点施策として優先的かつ積極的に取り組むこと。

#### ①市の活気と賑わいにつながる取組み

シティゾーンやびん沼自然公園、都市計画道路の整備を推進するほか、スポーツの振興や観光資源、PR大使などの活用により、市の魅力を発信するシティプロモーションを充実させるとともに、産業振興基金を活用した地域産業の活性化につながる取組みをさらに充実させ、活気や賑わいを創出すること。

#### ②子育て支援及び確かな教育の充実につながる取組み

子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めるとともに、妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援として、部局横断的に産前・産後のサポート事業に取り組むほか、新学習指導要領で必修となるプログラミング教育を推進するとともに英語学力向上の取組みなど、児童・生徒一人ひとりの学力を伸ばす施策に取り組むこと。

#### ③安心して安全に、元気でイキイキと暮らしていける取組み

震災対策及び浸水対策などの防災力向上施策は引き続き効果的な取組みを進めるほか、健康長寿社会に向けた介護予防の取組みや高齢者に対する防犯対策などの充実を図り、誰もが安心・安全に暮らしていけるためのソフト・ハード両面にわたる施策に取り組むこと。また、本市の地域特性である緑や水の豊かな自然環境の保全に取り組むほか、市が保有する公共施設を安全に利用できるよう計画的かつ効率的な施設整備を推進すること。

#### ④東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとしての取組み

セルビア共和国のホストタウンとして、レスリング及びハンドボールチームの事前キャンプ受入期間における市民との交流事業などに取り組むこと。また、新しい時代の希望の道をつなぐ聖火リレーの中継市として、イベント開催などによる機運醸成を図るとともに、大会後のレガシーの創出に努めること。

#### ⑤ICT技術を活用する取組み

市民の利便性の向上につながるICT技術の活用のほか、職員の業務の改善・効率化につながるAIやRPAの導入に取り組むこと。

## (2) 予算編成の基本的な考え方

次に掲げる予算編成上の留意するポイントを踏まえ、エビデンスに基づいた予算を編成すること。

### ①部局連携による横断的な取組みの推進

社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対応するためには、各部局間の連携による横断的な取組みが重要であることから、「縦割り」にならないよう留意すること。

なお、部局横断的に協議・調整した効果的な事業を新たに要求する場合は、総合政策部と十分調整すること。

### ②予算要求上限額の設定

令和2年度当初予算の要求額は、別途通知する各部局における一般財源ベースでの予算配分額以内とする。

各部局長は、部局の予算要求額を取りまとめ、責任を持って予算配分額以内に必ず調整すること。

### ③歳出の精査と歳入の確保

- ・政策的経費（実施計画事業）は、実施計画で認定された事業内容や事業費を予算編成時において再度見直し、十分整理・精査の上、予算要求すること。
- ・経常的経費は、過去の執行額・不用額について徹底した分析・検証を行うとともに、数量や回数、単価等の積算基礎を十分精査した上で予算要求すること。  
また、目的を達した補助金については、廃止を検討すること。
- ・消費税率改定を踏まえて歳出額を見積もる一方、複数から見積りを徴取するなど、歳出縮減の観点から安易な増額要求はしないこと。
- ・働き方改革を踏まえ、事務改善に取り組むとともに、時間外勤務の縮減に努めること。
- ・歳入は、国県支出金などの特定財源の活用や、先進自治体の取組みを参考にあらゆる収入増の可能性を検討した上で予算を見積もること。

### ④制度変更等に対応した適切な予算措置

令和2年度から始まる会計年度任用職員制度の導入のほか、幼児教育・保育無償化など、制度が大きく変更となったものについては関係各所と十分調整の上、適切に見込むこと。

### ⑤行財政改革の推進

第6次行財政改革大綱及び健全な財政運営に関する条例に基づき、弾力的かつ持続可能な財政構造の確立に向け、安定的な自主財源の確保や市民協働、民間活力の導入などを推進すること。

また、市税等の納付に関して、納税者の納付チャネル拡大を検討し、さらなる利便性向上及び収納率向上に取り組むとともに、債権管理条例に基づき、適正管理に努めること。